

# 第1回 疾患バイオリソースセミナー

下記によりセミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 2011年 6月 8日（水） 18:00 ～ 19:00

場 所： M&Dタワー 2階 共用講義室2

**演 者：金井弥栄 先生**

国立がん研究センター研究所 副所長・分子病理分野長

**演 題：国立がん研究センターにおけるバイオバンク  
試料管理実務の経験から**

オーム解析技術が進歩した今日、疾患の診断・予防・治療標的を同定するのに、臨床試料の解析から出発する道筋が求められている。これを可能にする臨床試料は、オーム解析に耐える質と量を備え、疾患や病態の多様性に応じて十分数が確保され、説明と同意に基づく倫理性が担保され、質の高い標準化された臨床情報・病理性情報が付随している必要がある。国立がん研究センターでは、このような要件を備えた臨床試料を研究者に提供するために、診療後剰余検体である病理組織検体・血液検体よりなるバイオバンク（バイオリソースデポジトリ）を構築してきた。本セミナーにおいては、国立がん研究センターバイオバンクの概要を紹介し、質の高い試料を確保するべく管理実務にあたってきた演者の経験を述べる。

連絡先： 分子細胞遺伝分野 稲澤 譲治（内線 5820）

共 催： 人体病理分野 江石 義信（内線 5964）